

From ASEAN

～分析力がASEAN市場でのリターンの命運を分ける～

高成長ASEAN小型株式ファンド 追加型投信/海外/資産複合

- ▶ 本レポートでは、当ファンドが投資している「マニユライフ・ASEAN小型株式ファンド(適格機関投資家専用)」(以下投資先ファンド)の運用会社であるマニユライフ・インベストメント・マネジメントが優良な小型銘柄を選定するための分析手法である「GCMV法」とその活用事例についてご紹介いたします。

ASEAN小型株式投資が放つ魅力:分析力が重要に

セクター構成比率に偏りがあるASEAN株式指数

一般的に各国の株式市場の動向を見る際には、各国・地域の主要株式指数を参照します。世界株や米国株の主要株式指数に投資する場合には、指数を構成する様々なセクターへの分散投資効果を期待することが可能ですが、ASEAN株式指数に関しては、指数自体の金融セクターへの偏りが非常に大きいため、セクターへの分散投資効果を期待することが難しいと言えます。

金融セクターはASEAN諸国の成長の原動力の役割を果たしてきましたが、既に成熟期となっている面もあります。そのため、ASEAN諸国の成長機会を享受するために金融以外にも目を向ける必要があると考えます(図表1)。

金融比率の低いASEAN小型株式指数の優位性

ASEAN小型株式指数は、ASEAN株式指数と比べて金融セクターの比率が低く、代わりに製造業やサービス業などの比率が高くなっており、ASEAN市場の発展をより享受しやすいセクター構成になっていると考えられます。実際、パフォーマンスの面でも、ASEAN小型株式指数はASEAN株式指数に対して優位性が窺えます(図表2、3)。

玉と石を見分ける「分析力」の重要性

一般的に、小型株投資は高いリターンが期待できる一方、リスクは高いと言われています。小型株は成長性が高い一方、ガバナンス面や財務面における脆弱性のリスクもあります。そのため小型株市場は「玉石混交」な市場であり、新興国の多いASEANにおいては特に「玉」を見極めるための分析力が重要となってきます。

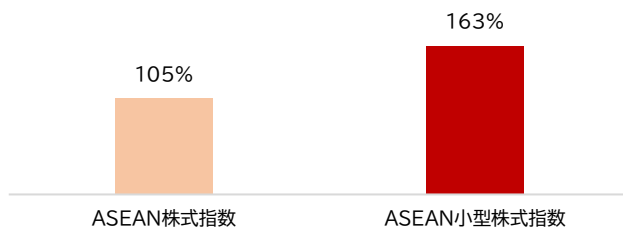
マニユライフでは成長性と企業としての質を兼ね備えた「優良小型株」を特定するために独自の分析手法「GCMV法」を活用し徹底したボトムアップ調査を行っています。

図表1 各株式指数のセクター構成比率:上位3セクター
(2024年4月末時点)

世界株式指数		ASEAN株式指数	
情報技術	24.5%	金融	42.5%
金融	15.2%	資本財・サービス	11.9%
ヘルスケア	11.8%	コミュニケーション・サービス	11.4%

※世界株式:MSCI World Index
※ASEAN株式:MSCI AC ASEAN Index

図表2 過去10年間の指数構成銘柄の平均株価上昇率
(期間:2014年4月末～2024年4月末)



※ASEAN株式指数:MSCI AC ASEAN Index
※ASEAN小型株式指数:MSCI AC Asia Small Cap Ind

図表3 過去10年のASEAN小型株式指数構成銘柄の
株価上昇率TOP5
(2024年4月末時点)

銘柄名	国	セクター	株価上昇率 (過去10年)
ペンタマスター	マレーシア	資本財・サービス	約96倍
フロントケン	マレーシア	資本財・サービス	約50倍
ベスト・ワールド・ インターナショナル	シンガポール	生活必需品	約31倍
PMBテクノロジー	マレーシア	素材	約27倍
AEMホールディングス	シンガポール	情報技術	約17倍

※ASEAN小型株式指数:MSCI AC Asia Small Cap Index

(図表1～3の出所)Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込み当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

ファンドマネージャーの視点:

リバーストーン・ホールディングス（ヘルスケアセクター/シンガポール）

同社は半導体など精密機器を取り扱う工場のクリーンルームや、医療現場向けの製品に強みを有する産業用手袋メーカーです。クリーンルームでは、微細な埃や異物の付着、静電気などが大敵となるため、同社は清浄度の基準を満たす高品質な手袋を提供しています。世界のテクノロジー企業やヘルスケア企業に対して豊富な納入実績を有しており、信頼性の高い手袋のサプライヤーとしての地位を高めています。



※写真はイメージです。

(出所) Getty

マニュアル独自の企業分析「GCMV法」で見た同社の評価ポイント

Growth(成長性)

世界的な半導体工場の敷設拡大による成長機会を評価

世界各地で半導体工場の建設が進んでおり、工場の稼働数増加と共に、クリーンルームで使用される同社の手袋の需要が拡大すると期待しています。

競争環境の改善を評価

競合する中国の手袋メーカーに厳しい関税が付与される可能性があり、同社製品の価格優位性が高まる見込みです。

Cashflow(現金創出力)

安定した現金創出力をもとに、自己調達による成長投資が可能な点を評価

継続的な需要が見込める事業を背景に高い現金創出力を有し、負債に依存しない強固な財務体質を有しています。

Management(経営の質)

競争優位性を高める経営判断を評価

経営陣は、他社対比で競争力を向上させる目的で、研究開発に資金を投じる明確な方針を開示しました。

Valuation(企業価値評価)

業績反転期待+割安な株価水準

過去数年の業績不振から脱し、今後は業績の回復が見込まれます。成長余地に対して株価は割安と判断します。

同社の業績は、コロナ禍の2020~2021年にかけて医療用手袋の特需を背景に高成長を遂げたものの、2022年以降はその反動から業績は低迷期に入りました。業績鈍化と共に株価も大きく下落しましたが、運用チームは業績は足元において回復局面入りしたと判断しています。業界における競争環境の改善が見込まれることに加え、半導体企業からの需要拡大が見込まれるなど業績回復の余地があることから、現状の株価は割安な水準にあるとみられます(図表4)。



* 上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

(出所) Bloombergのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

留意事項

【SBI岡三アセットマネジメントについて】

商号:SBI岡三アセットマネジメント株式会社

SBI岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。ファンドは、アセアン諸国の株式、不動産投資信託証券等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「不動産投資信託証券のリスク(価格変動リスク、配当金(配当金)減少リスク)」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「不動産投資信託証券のその他のリスク(信用リスク、業績悪化リスク、自然災害・環境問題等のリスク、法律改正・税制の変更等)によるリスク、上場廃止リスク、流動性リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
 - 配当金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、配当金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。配当金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、配当金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、配当金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、配当金額より基準価額の値上がりがかさかった場合も同様です。
 - 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
購入時手数料 : 購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3% (税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料 : ありません。
信託財産留保額: 1口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額 × 0.3%

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
運用管理費用(信託報酬)
: 純資産総額×年率1.166%(税抜1.06%)
運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
: 純資産総額×年率2.046%(税抜1.86%)程度
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。
なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
監査費用 : 純資産総額×年率0.0132%(税抜0.012%)
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社一覧 (2024年6月21日現在)

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○	○		

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル 0120-048-214 (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)